



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月12日

上場会社名 エムティジェネックス株式会社
 コード番号 9820 URL <http://www.mt-genex.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 均
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 長野 幸司
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5405-4011

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	2,026	8.7	171	15.9	182	13.6	146	3.2
2020年3月期第3四半期	1,864	9.7	203	4.1	211	3.0	142	1.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 147百万円 (3.3%) 2020年3月期第3四半期 142百万円 (2.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	136.21	
2020年3月期第3四半期	131.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	4,214	3,225	76.5	2,996.62
2020年3月期	4,354	3,122	71.7	2,899.94

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 3,225百万円 2020年3月期 3,122百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		40.00	40.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,100	5.0	200	61.4	210	60.2	160	53.8	148.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社(社名)株式会社チヨダMEサービス 除外 1社(社名)東洋ハウジング管理株式会社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	1,079,600 株	2020年3月期	1,079,600 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	3,101 株	2020年3月期	2,994 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	1,076,566 株	2020年3月期3Q	1,076,683 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(企業結合等関係)	10
(追加情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大し、企業収益の悪化により設備投資が減少するとともに、失業率は増加傾向にあり、景気の先行き不透明感是一段と高まる状態となりました。オフィスマーケットにつきましては、都心部の大規模新築オフィスビルの需要は依然として高く、空室率は低水準で推移するものの、新型コロナウイルス感染症による企業の事業縮小やテレワークの拡大等に起因して、空室率は緩やかに上昇しており、賃料水準も低下傾向にあることから需給環境の変化には注視が必要となります。また、建設業界におきましては、工事受注は底堅く推移しているものの、新型コロナウイルスの影響による工事進捗の遅延が懸念されます。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高2,026,006千円（前年同期比161,687千円増）、営業利益171,379千円（同32,447千円減）、経常利益182,538千円（同28,748千円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益146,641千円（同4,527千円増）となり、計画通り堅調に推移いたしました。なお、営業利益及び経常利益はM&A関連費用を計上したことにより、前年同期に対して減益となりました。

また、当社は、事業領域の拡大と経営資源の有効活用を企図したM&Aを重要な経営課題として取り組んでおりますが、その取り組みの一環として、電気設備システムの保守・保全事業を展開する株式会社チヨダMEサービス（香川県高松市）の全株式を取得する株式譲渡契約を2020年9月28日に締結し、2020年10月1日付で全株式を取得しました。詳細については「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（企業結合等関係）」に記載のとおりであります。引き続きM&Aにつきましては積極的に検討してまいります。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、連結子会社の変更に伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「住宅・ビル管理」から、「施設等保守管理」に変更しております。詳細については「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

事業セグメント	当第3四半期連結累計期間		前第3四半期連結累計期間		増減	
	売上高 (千円)	セグメント 利益 (千円)	売上高 (千円)	セグメント 利益 (千円)	売上高 (千円)	セグメント 利益 (千円)
リニューアル	733,023	161,150	475,770	57,905	+257,252	+103,244
駐車場	859,194	127,533	1,005,216	145,014	△146,021	△17,480
施設等保守管理	390,059	11,507	341,512	23,627	+48,547	△12,120
保険代理	43,729	20,822	41,820	22,361	+1,909	△1,539
合計	2,026,006	321,014	1,864,319	248,909	+161,687	+72,104

①リニューアル

オフィスの内装リニューアル工事が好調に推移した結果、前年同期に対し増収増益となりました。

②駐車場

昨年度末に大型駐車場を閉鎖したことや新型コロナウイルス感染拡大に伴う外出自粛により時間貸駐車場の稼働が低下した結果、前年同期に対し減収減益となりました。

③施設等保守管理

当第3四半期連結累計期間より、連結子会社とした株式会社チヨダMEサービスをセグメントに追加したため増収となったものの、連結子会社化に伴うのれん償却費を計上したことや新型コロナウイルス感染拡大に伴うビル内オフィスワーカーの出勤抑制に伴い、衛生消耗品の販売量減少や飲料自動販売機の販売手数料が減少した結果、前年同期に対し増収減益となりました。

④保険代理

火災保険、工事保険のいずれも順調に推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ139,883千円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金が188,734千円減少、完成工事未収入金が621,768千円減少、関係会社短期貸付金が150,000千円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ243,654千円減少いたしました。主な要因は、保険代理業務等における預り金が181,907千円減少、工事未払金が403,028千円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ103,771千円増加いたしました。これは主に剰余金の配当43,064千円、親会社株主に帰属する四半期純利益146,641千円を計上したことによるものであります。

以上の結果、総資産は4,214,261千円、負債合計は988,399千円、純資産合計は3,225,861千円、自己資本比率は76.5%、1株当たり純資産額は2,996円62銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、前回予想（2020年11月9日発表の「2021年3月期 第2四半期決算短信」に記載）から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,353,824	1,165,090
受取手形及び売掛金	54,344	117,513
電子記録債権	8,735	—
完成工事未収入金	868,021	246,252
未成工事支出金	18	43,682
関係会社短期貸付金	1,850,000	2,000,000
その他	34,285	157,990
流動資産合計	4,169,230	3,730,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,961	89,347
減価償却累計額	△8,993	△15,000
建物及び構築物 (純額)	3,968	74,347
機械装置及び運搬具	3,344	3,293
減価償却累計額	△1,344	△2,043
機械装置及び運搬具 (純額)	2,000	1,250
土地	22,048	58,820
その他	43,575	48,937
減価償却累計額	△34,784	△40,549
その他 (純額)	8,790	8,388
有形固定資産合計	36,807	142,806
無形固定資産		
のれん	—	144,120
その他	2,701	2,181
無形固定資産合計	2,701	146,302
投資その他の資産		
投資有価証券	37,742	42,189
敷金及び保証金	64,634	60,286
繰延税金資産	40,927	73,036
長期預金	—	17,200
その他	2,101	1,910
投資その他の資産合計	145,405	194,622
固定資産合計	184,914	483,731
資産合計	4,354,144	4,214,261

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	86,960	90,113
短期借入金	—	16,500
1年内償還予定の社債	—	10,000
1年内返済予定の長期借入金	—	23,676
工事未払金	527,781	124,752
未払法人税等	141,148	48,197
前受金	56,575	49,487
預り金	220,343	38,435
賞与引当金	16,334	7,470
資産除去債務	4,706	4,706
その他	67,041	86,108
流動負債合計	1,120,890	499,447
固定負債		
社債	—	80,000
長期借入金	—	151,392
長期預り敷金	86,569	94,136
退職給付に係る負債	24,595	95,582
役員退職慰労引当金	—	67,841
固定負債合計	111,164	488,952
負債合計	1,232,054	988,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,072,060	1,072,060
利益剰余金	2,059,293	2,162,870
自己株式	△11,212	△11,530
株主資本合計	3,120,141	3,223,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,948	2,461
その他の包括利益累計額合計	1,948	2,461
純資産合計	3,122,090	3,225,861
負債純資産合計	4,354,144	4,214,261

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	1,864,319	2,026,006
売上原価	1,384,394	1,532,352
売上総利益	479,924	493,653
販売費及び一般管理費	276,097	322,274
営業利益	203,826	171,379
営業外収益		
受取利息	6,934	7,218
受取配当金	222	886
有価証券評価益	—	2,184
雑収入	303	1,359
営業外収益合計	7,459	11,648
営業外費用		
支払利息	—	489
営業外費用合計	—	489
経常利益	211,286	182,538
特別利益		
有価証券売却益	—	4,335
特別利益合計	—	4,335
税金等調整前四半期純利益	211,286	186,873
法人税、住民税及び事業税	55,869	14,005
法人税等調整額	13,303	26,227
法人税等合計	69,172	40,232
四半期純利益	142,114	146,641
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,114	146,641

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	142,114	146,641
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	371	513
その他の包括利益合計	371	513
四半期包括利益	142,485	147,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,485	147,154
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間において、東洋ハウジング管理株式会社は、株式譲渡により連結の範囲から除外しております。

当第3四半期連結会計期間において、株式会社チヨダMEサービスの株式を新たに取得したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	リニューアル	駐車場	施設等保守 管理	保険代理	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	475,770	1,005,216	341,512	41,820	1,864,319	—	1,864,319
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	475,770	1,005,216	341,512	41,820	1,864,319	—	1,864,319
セグメント利益	57,905	145,014	23,627	22,361	248,909	△45,082	203,826

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各事業に帰属しない管理部門の一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	リニューアル	駐車場	施設等保守 管理	保険代理	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	733,023	859,194	390,059	43,729	2,026,006	—	2,026,006
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	733,023	859,194	390,059	43,729	2,026,006	—	2,026,006
セグメント利益	161,150	127,533	11,507	20,822	321,014	△149,635	171,379

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各事業に帰属しない管理部門の一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

施設等保守管理セグメントにおいて、当第3四半期連結会計期間より、株式会社チヨダMEサービスの全株式を取得して連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの発生額は151,705千円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度までは、間接部門に係る費用等の全社経費につきましては各報告セグメントへ配賦を行っていましたが、経営管理の手法を見直した結果、第1四半期連結累計期間より、各報告セグメントに直接帰属しない一般管理費については配賦不能費用として調整額に含め、各報告セグメントに直接帰属する事業拡大費用等についてはより合理的な基準によって見直した配賦率で配賦する方法に変更しております。

また、第2四半期連結会計期間において、東洋ハウジング管理株式会社の株式譲渡により連結の範囲から除外したこと、第3四半期連結会計期間より、株式会社チヨダMEサービスの全株式を取得して連結子会社としたことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントを従来の「住宅・ビル管理」から、「施設等保守管理」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの算定方法及び区分方法により作成したものを記載しております。

(企業結合等関係)

(取得による企業結合)

当社は、2020年9月28日開催の取締役会において、株式会社チヨダMEサービスの全株式を取得し、同社を子会社化することについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2020年10月1日付で全株式を取得しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社チヨダMEサービス
事業の内容 電気設備システムの保守・保全業務

(2) 企業結合を行った主な理由

新たな事業への進出と事業エリアの拡大を図ることにより、持続的な企業成長とリスクの分散に寄与するものとして本株式の取得を決定したものであります。

(3) 企業結合日

2020年10月1日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得する議決権比率

100.0%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式取得したことによるものです。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結財務諸表に含まれる被取得企業の業績の期間

2020年10月1日から2020年12月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得価額につきましては、株式取得の相手先の意向により開示を差し控えておりますが、公平性・客観性を確保するため、独立した第三者機関によるデューデリジェンス及び株式価値算定を基に、当事者間で合意した金額であります。

4. 主要な取得関連費用の内容及び金額

発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

151,705千円

なお、上記の金額は暫定的に算定された金額です。

(2) 発生原因

取得原価が取得した資産及び引き受けた負債に配分された純額を上回ったため、その差額をのれんとして計上しております。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、各種会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関しては、収束時期が未だ不透明な状況にあることから、当連結会計年度の一定期間にわたり影響が及ぶものと想定しております。なお、当第3四半期連結累計期間において関連する各種引当金の計上や減損処理はありません。また、繰延税金資産の回収可能性等についても変更ありません。今後の新型コロナウイルス感染症の収束時期や経済活動への影響に関しては不確定要素が多く、今後の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。